検査項目名	略称	基準範囲			=M 00
快宜垻日石	哈孙	男性 女性 単		単位	説明
肝臓・胆嚢・膵臓に関する検査					
総蛋白	TP	6.6-8.1		g/dL	栄養状態、肝・腎障害などの指標です。
アルブミン	Alb	4.1-5.1		g/dL	栄養状態の悪化や肝・腎障害の程度を反映して 低下します。
A/G比	A/G	1.32	-2.23		アルブミンとグロブリンの成分比。免疫疾患が どの病態把握に用いられます。
ALBI score		設定	なし		アルブミンと総ビリルビン値から計算される 値で、肝予備能の評価に用いられます。
Fib-4 index		設定	なし		AST、ALT、血小板数、年齢から計算される数で、肝線維化の評価に用いられます。
総ビリルビン	T-Bil	0.2-1.2		mg/dL	黄疸の有無、程度の判定に用います。
直接ビリルビン	D-Bil	0.0-0.4		mg/dL	肝細胞障害、胆汁うっ滞で高値になります。
アスパラギン酸 アミノトランスフェラーゼ	AST	13-30		U/L	肝細胞、筋肉、赤血球の障害の指標です。
アラニン アミノトランスフェラーゼ	ALT	10-42	7-23	U/L	肝細胞が障害されると高値になります。
乳酸脱水素酵素(IFCC法)	LD_IFCC	124-222		U/L	肝臓・心臓など様々な臓器の障害の指標です。
アルカリフォスファターゼ (IFCC法)	ALP_IFCC	38-113 <u>(21歳以上)</u> <u>20歳以下は年齢別に設定し</u> <u>ています</u>		U/L	肝胆道系疾患、骨疾患、妊娠などで上昇しま す。
ガンマグルタミル トランスフェラーゼ	γ-GT	13-64	9-32	U/L	アルコール性肝障害、胆道系疾患、肝内胆汁 うっ滞などで高値になります。
コリンエステラーゼ	CHE	240-486	201-421	U/L	主に肝疾患により低下し、有機リン中毒でも 値となります。
ロイシンアミノペプチダーゼ	LAP	30-70		U/L	肝・胆道の閉塞状態を反映します。
アミラーゼ	AMY	44-132		U/L	主に膵臓・唾液腺の障害を反映します。
アンモニア		12-66		μg/dL	主に肝臓でのアンモニアの代謝障害で上昇します。
インドシアニングリーン試験	ICG	【15分值】 0.00~0.10		mg/dL	肝臓の解毒能力がわかります。

検査項目名	題名 略称 ———		基準範囲		説明		
伙且坝口口	血耳4小	男性 女性		単位	atevs		
腎臓に関する検査							
尿素窒素	UN	8-20		mg/dL	腎機能の指標です。		
尿酸	UA	3.7-7.0 2.6-7.0		mg/dL	腎障害、痛風などで高値になります。		
クレアチニン	CRE	0.65-1.07	0.46-0.79	mg/dL	腎機能の指標です。		
クレアチニンクリアランス (内因性)	Ccr	93.0-	238.0	L/day	腎機能の指標です。		
推算GFR (糸球体濾過値)	eGFR	設定	なし	mL/min/ 1.73m ²	腎機能(糸球体濾過量)の推定と慢性腎臓 (CKD)のstage分類に用います。		
β2ミクログロブリン	β2MG	2.0	以下	μg/mL	腎機能障害(糸球体濾過量の低下)の指標で す。		
ナトリウム	Na	138-145		mmol/L	Na・水代謝異常の指標です。		
カリウム	К	3.6-4.8		mmol/L	神経伝達や筋収縮に関与し、生命活動に維持調 節に重要な電解質です。		
クロール(塩素)	Cl	101-108		mmol/L	酸塩基平衡障害の指標です。		
カルシウム	Ca	8.8-10.1		mg/dL	骨・腎臓・副甲状腺の指標です。		
無機リン	IP	2.7	-4.6	mg/dL	日・日加戦・田が平1人の水シガビが示しょ。		
マグネシウム	Mg	1.6-2.6		mg/dL	腎臓や甲状腺機能の指標です。		
血清浸透圧	OSM	284	-294	mOsm/L	Na・水代謝異常の指標です。		
金属・鉄代謝に関する検査							
血清鉄	Fe	64-187	40-162	μg/dL	貧血の原因疾患の鑑別や肝臓障害の指標です。		
不飽和鉄結合能	UIBC	104-259 108-325		μg/dL	貧血の原因疾患の鑑別の指標です。		
総鉄結合能	TIBC	253-365 246-410		μg/dL	東皿Ⅵ水四次ぶⅥ━別Ⅵ佰标(9。		
フェリチン		39.9-465.0 6.2-138.0		ng/mL	組織の貯蔵鉄量を反映する指標です。		
亜鉛		80-130		μg/dL	亜鉛の欠乏や中毒の診断(味覚障害など)に用 います。		

検査項目名	略称	基準範囲			説明			
快且坝日石	四日十小	男性女性		単位	- ancupa			
脂質・糖代謝に関する検査								
総コレステロール	T-Cho	142-248		mg/dL	高脂血症・動脈硬化などで高値になります。			
HDL-コレステロール	H-Cho	40-90 40-103		mg/dL	いわゆる「善玉コレステロール」抗動脈硬化作 用をもっています。			
LDL-コレステロール	L-Cho	65-139		mg/dL	いわゆる「悪玉コレステロール」高くなると動 脈硬化症の原因となります。			
トリグリセリド(中性脂肪)	TG	40-149	30-149	mg/dL	高くなると動脈硬化症の危険因子となります。			
LDL-コレステロール (Friedewald式)	LDL (F式)	設定なし		mg/dL	LDLコレステロールの推算式です。中性脂肪が 400mg/dL以下のときに適用される計算式で す。			
LDL-コレステロール (Sampson式)	LDL (S式)	設定なし		mg/dL	LDLコレステロールの推算式です。中性脂肪が 800mg/dL以下のときに適用される計算式で す。			
Non-HDLコレステロール	Non-HDL	設定なし		mg/dL	総コレステロールからHDLを引いた値です。脂 質異常症の診断に用いられます。			
空腹血糖		73-109		mg/dL	糖尿病の基本的な検査です。			
ヘモグロビンA1c (糖化ヘモグロビン)	HbA1c (NGSP)	4.6-6.2		%	糖尿病の診断に用いられます。過去1~3ヵ月の 長期血糖コントロールの指標です。			
グリコアルブミン (糖化アルブミン)	GA	11-16		%	過去1~2週間の血糖コントロールの指標です。			
心筋・心機能・筋疾患に関する検査								
クレアチンキナーゼ	CK	59-248	41-153	U/L	骨格筋や心筋の破壊を反映して 上昇します。			
クレアチンキナーゼ (心筋型)	CK-MB	0-12		U/L	急性心筋梗塞などの心筋疾患の診断、 経過の把握に有用です。			
トロポニンT		0.014 以下		ng/mL	急性心筋梗塞などの心筋疾患の診断、 経過の把握に有用です。			
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチ ド前駆体N端フラグメント	NTProBNP	125 未満		pg/mL	心不全で上昇するマーカーです。			

			基準範囲				
検査項目名	略称	男性	女性	単位	. 説明		
免疫に関する検査							
C反応性蛋白	CRP	0.3 以下		mg/dL	炎症や組織破壊の指標です。		
ロイシンリッチα2 グリコプロテイン	LRG	16 以下		μg/mL	潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患 で上昇します。		
可溶性インターロイキン-2 受容体	sIL-2R	204-587		U/mL	主にリンパ腫の病態モニタリングに 用いられます。		
プロカルシトニン	PCT	0.05 未満		ng/mL	細菌感染すると上昇します。		
リウマチ因子 (リウマトイド因子)	RF	15 以下		IU/mL	関節リウマチやその他自己免疫疾患で、 陽性になります。		
マトリックスメタロ プロテイナーゼ-3	MMP3	36.9-121.0 17.3-59.7		ng/mL	関節リウマチの疾患活動性の評価、 骨・関節破壊の予後予測の指標です。		
補体価	CH50	31.6-57.6		U/mL	自己免疫疾患・感染症の指標です。		
免疫グロブリンG	IgG	870-1700		mg/dL			
免疫グロブリンM	IgM	35-	35-220		抗体(免疫グロブリン)で、主に感染防御に働 きます。		
免疫グロブリンA	IgA	110-410		mg/dL			
抗核抗体	ANA	40 未満		倍	膠原病に特有な自己抗体を調べます。		
クリオグロブリン		陰性			異常タンパクの一種で、主にクリオグロブリン 血症(クリオフィブリノーゲン血症)や膠原病		
クリオフィブリノーゲン		陰性			などの免疫疾患で検出されます。		

検査項目名	略称	基準範囲 男性 女性 単位			説明		
次 县央口石	# 110			単位	נאיטענו		
内分泌代謝に関する検査							
甲状腺刺激ホルモン	TSH	0.500-5.000		μIU/mL	甲状腺ホルモンの異常がわかります。甲状腺機		
遊離サイロキシン	FT4	0.90-1.70		ng/dL	能亢進(バセドウ病)や機能低下(橋本病)などで異常値を示します。		
遊離トリヨードサイロニン	FT3	2.3-4.0		pg/mL			
副甲状腺ホルモン	PTH-intact	10-	-65	pg/mL	副甲状腺の機能を調べる項目です。カルシウム やリンの代謝に関与します。		
ヒト絨毛性ゴナドトロピン	HCG	5.0	以下	mIU/mL	妊娠の早期確認、流産、子宮外妊娠や絨毛性疾 患の診断、治療効果の指標となります。		
プロゲステロン		0.2 以下		ng/mL	黄体機能不全、妊娠初期の診断、切迫流産の予 後判定、胎盤機能の指標などに有用です。		
エストラジオール	E2	14.6-48.8		pg/mL	卵巣胎盤機能とくに卵胞発育の状態をよく反映 します。		
黄体形成ホルモン	LH	1.7-8.6	女性の場合は 性周期により	mIU/mL	LH、FSHは下垂体性性腺刺激ホルモンとして共同で作用し、性腺機能異常の診断と評価に有用		
卵胞刺激ホルモン	FSH	1.5-12.4	異なります。	mIU/mL	です。		
プロラクチン		4.29-13.69		ng/mL	女性の乳汁分泌異常、男性の性腺機能低下や視 床下部・下垂体領域の疾患で異常値を示しま す。		
成長ホルモン	GH	0.00-2.47 0.13-9.88		ng/mL	下垂体性小人症、末端肥大症の診断、治療効果 判定など視床下部・下垂体機能の指標となりま す。		
コルチゾール		5.0-17.9		µg/dL	糖、脂質、タンパク質の代謝や血圧の調節に関 わるホルモンです。		
アルドステロン		10.4-142	.3(随時)	pg/mL	腎臓に作用し、体の水分量やナトリウム、カリ ウムの調節を行うホルモンです。		
レニン濃度		3.2-36.3(随時) 2.5-21.0(臥位) 3.6-64.0(立位)		pg/mL	血圧を上げるための手助けをする 酵素です。		
腫瘍マーカー検査	腫瘍マーカー	·の結果だけで	「がんがある」	とは断定で	きません。		
a-フェトプロテイン	AFP	10.0	以下	ng/mL	主に肝がんで上昇します。		
癌胎児性抗原	CEA	5.0 以下		ng/mL	主に胃や大腸などの消化器系のがんや 肺がんなどで上昇します。		
CA19-9		37.0 以下		U/mL	主に膵臓や胆道系のがんで上昇します。		
前立腺特異抗原	PSA	4.0 以下		ng/mL	前立腺がんで上昇します。		
ガストリン放出ペプチド 前駆体	ProGRP	74.7 未満		pg/mL	神経内分泌腫瘍とくに肺小細胞癌で 上昇します。		
神経特異エノラーゼ	NSE	16.3 以下		ng/mL	神経芽腫および網膜芽腫や肺小細胞癌で 上昇します。		
扁平上皮癌関連抗原	SCC抗原	2.5 以下		ng/mL	各種臓器の扁平上皮癌の診断、治療効果、経過 観察のモニタリングとして有用です。		

 	四女手仁		基準範囲		説明
検査項目名	略称 -	男性 女性		単位	武明
感染症検査					
B型肝炎に関する項目					
HBs抗原	HBsAg	(-)		IU/mL	現在B型肝炎ウイルスに感染しているかがわかり ます。
HBs抗体	HBsAb	(-)		mIU/mL	過去にB型肝炎ウイルスに感染したことがあるか、またはB型肝炎ワクチンを接種したことがあるかがわかります。
HBc抗体	HBcAb	(-)	S/CO	過去にB型肝炎ウイルスに感染したことがあるか がわかります。
HBV核酸定量 (HBV DNA TaqMan PCR)	HBV Taq	検出せず		LogIU/mL	リアルタイムPCR法により高感度にB型肝炎ウィルスの量を調べ、治療効果を判定します。
C型肝炎に関する項目					
HCV抗体		(-)		S/CO	現在C型肝炎ウイルスに感染しているか、または 過去にC型肝炎ウイルスに感染したことがあるか がわかります。
HCV核酸定量 (HCV TaqMan PCR)	HCV Taq	検出せず		LogIU/mL	リアルタイムPCR法により高感度にC型肝炎ウィ ルス量を調べ、治療効果を判定します。
HIVに関する項目					
HIV抗原抗体	HIV Ag/Ab	(-)			ヒト免疫不全ウイルスに感染しているかがわか ります。
HIV核酸定量 (HIV-1 TaqMan PCR)	HIV-1 Taq	検出	けせず	copy/mL	リアルタイムPCR法により高感度にHIV-1のウィ ルス量を調べ、治療効果を判定します。
梅毒に関する項目					
RPR定性		(-)			
RPR定量		1 未満		倍	梅毒に感染しているかがわかります。
TP抗体定性	TPAb定性	(-)			19世に窓来しているカガイノガンスす。
TP抗体定量	TPAb定量	1 .0未満		COI	

検査項目名	略称		基準範囲	説明				
快且块日石	四百个小	男性 女性		単位	נעימה			
血中薬物検査		薬の投与には個人差が伴います。そのため効果が最大限に発揮され、かつ副作用が出ない血中濃度を調べます。トラフとは投薬前の血中濃度のことです。						
カルバマゼピン		【トラフ】4.0-12.0 μg		μg/mL				
フェノバルビタール		【トラフ】15.0-40.0		μg/mL	抗てんかん薬です。			
フェニトイン		【トラフ】	10.0-20.0	μg/mL	が、こんかん楽じり。			
バルプロ酸ナトリウム		【トラフ】	50.0-100.0	μg/mL				
ジゴキシン		【トラフ】0.50-1.50		ng/mL	強心剤です。			
テオフィリン		【トラフ】8.0-20.0		μg/mL	気管支拡張剤です。			
バンコマイシン		【トラフ】5-10 【ピーク】20-40		ng/mL	抗生物質です。			
アセトアミノフェン		【トラフ】5.0-20.0		μg/mL	解熱剤・鎮痛剤です。			
シクロスポリン	シクロ	【トラフ】50-200		ng/mL				
タクロリムス	タクロ	【トラフ】5.0-20.0		ng/mL	免疫抑制剤です。			
エベロリムス		【トラフ】3.0-8.0		ng/mL				
メトトレキサート		中毒域 【24時間後】10.0以上 【48時間後】1.0以上 【72時間後】0.1以上		μmol/L	抗がん剤・抗リウマチ薬です。			
インフリキシマブ		設定なし		μg/mL	抗リウマチ薬です。			